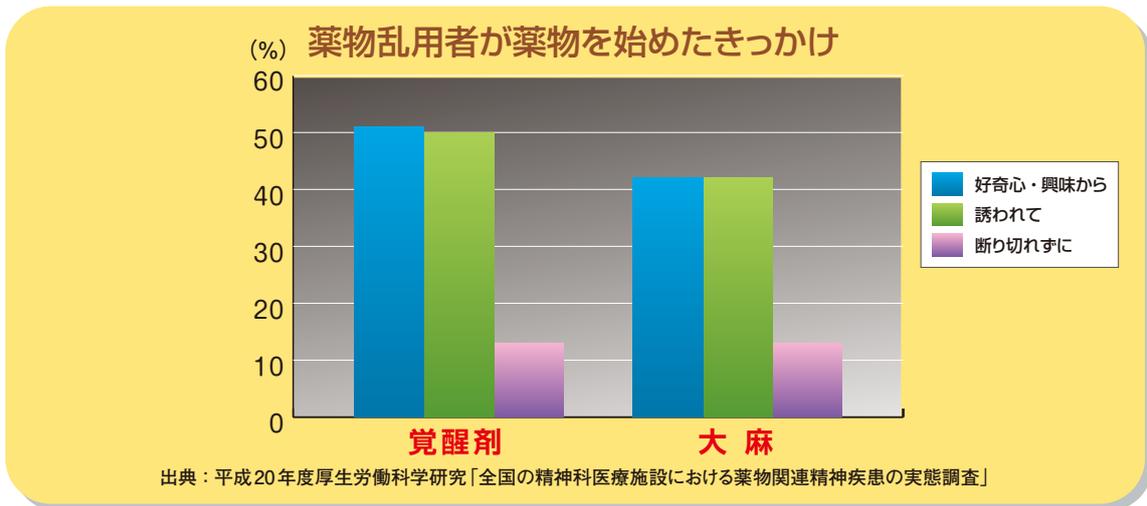


薬物は 好奇心や誘惑から始まる!

薬物乱用の開始の背景には、好奇心、周囲の人々からの誘い、断りにくい人間関係、薬物を手に入れやすい環境などがあります。



◎薬物をすすめられても答えは

No!

◎危険な場所に近づかないこと、

逃げることも「**勇気**」です。

◎薬物をすすめる友達や恋人は、あなたにとって大切な人ではありません。

薬物乱用のQ&A

Q1 薬物を使うと、やせることができたり、勉強がはかどったりするって本当ですか？

A1 **答えはNo!です。**覚醒剤などの薬物は、中枢神経系に作用して、一時的に心身をだまして食欲や眠気をなくすだけです。作用がなくなると異常に食欲が強まったり、強い疲労感、倦怠感や脱力感が襲ってきて勉強どころではなくなります。

Q2 脱法ドラッグは安全と聞きますが、本当に大丈夫なんですか？

A2 **答えはNo!です。**これらの商品は、法律で規制されないよう覚醒剤など規制薬物の化学構造に似せて作られており、規制薬物と同等の作用を有する成分を含む商品が多く大変危険です。また、商品の中に麻薬などの規制薬物が含まれていた例もありますので**絶対に手を出してはいけません。無責任なうわさに惑わされてはいけません。**

Q3 薬物を使うと、生まれてくる子供にも影響しますか？

A3 **答えはYes!です。**女性が妊娠中に薬物を使うと、死産や早産が起こったり、低出生体重児が生まれたりすると言われていています。また、大麻を使うと、男性では精子形成能の低下、精子の異常を、女性では卵巣に影響し月経異常を引き起こすとの報告もあります。

Q4 薬物の問題で困っているときに、相談できる場所がありますか？

A4 **答えはYes!です。**各都道府県には、薬物乱用防止の相談窓口（精神保健福祉センターなど）があります。薬物問題で困っているときには、相談してみてください。

薬物乱用防止相談窓口

検索

携帯電話から

URL=<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html>



Q5 薬物をすすめられたらどう対処すればいいですか？

A5 **きっぱり「いやだ!」と言いましょ。**「嫌われる」と思っても、はっきり「いやだ!」と言うべきです。その後に起こる重大な結果を思い浮かべ、最初に「No」と言うことが大切です。“きっぱり断る”“逃げる”勇気を持ちましょ!
そのようなものをすすめる友達や恋人は、あなたにとって大切な人ではありません。